

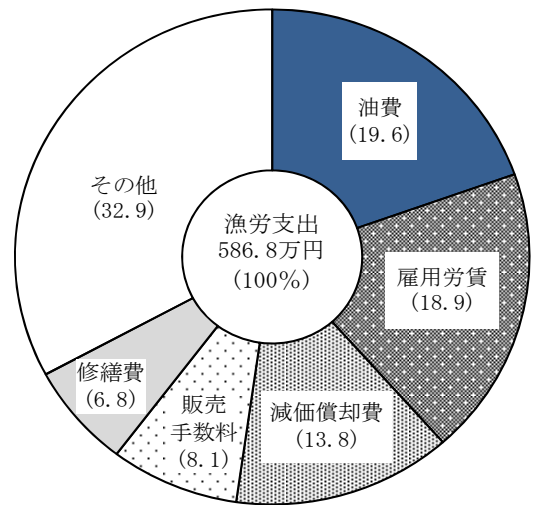
## 1 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）

主として漁船漁業を営む個人経営体の漁労収入は821万円で、前年に比べ0.8%増加した。

漁労支出は587万円で、1.2%増加した。これは、船舶等の更新に伴い減価償却費が増加したこと等による。

この結果、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は234万円で、0.1%減少した。

図1 漁労支出の構成割合  
(個人経営体)



注：割合の計が100%とならないのは、四捨五入によるものである（図2において同じ。）。

表1 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区分	平成23年	24	対前年増減率
	千円	千円	%
漁労所得	2,346	2,343	△ 0.1
漁労収入	8,147	8,211	0.8
漁労支出	5,801	5,868	1.2
うち 油費	1,120	1,150	2.7
雇用労賃	1,065	1,107	3.9
減価償却費	762	807	5.9
販売手数料	462	476	3.0
修繕費	415	398	△ 4.1
漁獲量(kg)	18,356	18,282	△ 0.4

注：平成24年の集計経営体数は、302経営体である。

平成24年の個人経営体調査結果については、東日本大震災の影響により、漁業が行えなかった等から福島県を含まない。

## 2 会社経営体（漁船漁業：1経営体当たり）

主として漁船漁業を営む会社経営体の漁労売上高は2億8,246万円で、前年度に比べ3.0%増加した。

漁労支出は2億9,254万円で、3.2%増加した。これは、漁労売上高の増加に伴い労務費が増加したこと等による。

この結果、漁労売上高から漁労支出を差し引いた漁労利益はマイナス1,008万円で、これに漁労外利益を加えた営業利益はマイナス73万円となった。

図2 漁労支出の構成割合  
(会社経営体)

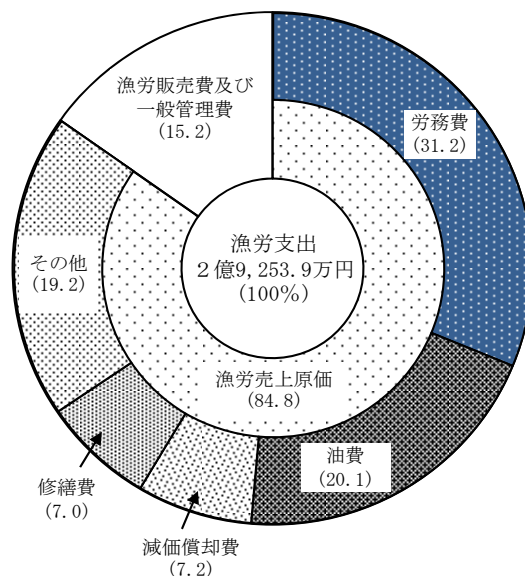


表2 会社経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	平成23年度	24	対前年度増減率
	千円	千円	%
漁労利益	△ 9,232	△ 10,083	△ 9.2
漁労売上高	274,316	282,456	3.0
漁労支出	283,548	292,539	3.2
漁労売上原価	240,090	248,042	3.3
うち 労務費	85,477	91,397	6.9
油費	57,843	58,831	1.7
減価償却費	23,172	21,162	△ 8.7
修繕費	19,621	20,581	4.9
漁労販売費及び一般管理費	43,458	44,497	2.4
漁労外利益	6,401	9,354	46.1
営業利益	△ 2,831	△ 729	74.2
経常利益	7,919	13,194	66.6
漁獲量(t)	1,537	1,532	△ 0.3

注：1 平成24年度の集計経営体数は、128経営体である。

2 漁労支出とは、「漁労売上原価」と「漁労販売費及び一般管理費」の合計値である。

3 対前年度増減率の漁労利益及び営業利益は、対前年度差を平成23年度値で除し「-1」を乗じて算出した。